



駐屯地司令要望事項
地域と国民のために

駐屯地司令及び第1施設団長 感謝状贈呈式を実施

令和三年十二月十四日(火)、古河駐屯地及び第一施設団への協力に対して功績の著しい個人四名及び団体二社に対し、日頃の感謝と敬意を表するとともに、功績を称えるため、感謝状贈呈式を行った。

贈呈式では、古河駐屯地後援会 高野和子様、隊友会下館支部 寺野明良様、古河駐屯地厚生センター売店店長 藤原美好様、コベルコ建機日本株式会社様、関東センコー運輸株式会社様に対して駐屯地司令からの感謝状を、第二〇一ダンプ車両中隊OB会会長 村川秋夫様に対して第一施設団長からの感謝状をそれぞれ贈呈した。

司令(第一施設団長)は、受賞者一人一人に感謝状を贈呈するとともに「平素からの駐屯地と施設団隷下を含む部隊等への継続したご協力とご支援に対して、感謝申し上げる(要旨)」と謝辞を述べ、受賞者の駐屯地及び部隊への貢献に対して強い感謝の意を伝えた。

贈呈式後受賞者の方々は、駐屯地体育館において実施されていた令和3年度団戦技競技会(銃剣道の部)の、正々堂々と戦う隊員の迫力ある勇姿を見学した。

また、令和四年一月十三日(木)、駐屯地司令は下妻市役所において、古河自衛隊協力会副会長である菊池博下妻市長に対し防衛基盤の育成に貢献された功績として感謝状を贈呈した。

この他、株式会社皆業自動車様は駐屯地司令から、座間自衛隊協力会会長 渡部泰様、第四施設群OB会座間・朝霞分会長 高野恒夫様、高田OB会会計幹事 日下部秀人様が第一施設団長から、それぞれ感謝状を贈呈された。



古河駐屯地後援会
会員 高野 和子様



茨城県隊友会下館支部
副支部長 寺野 明良様



第301ダンプ車両中隊
OB会会長 村川 秋夫様



コベルコ建機日本株式会社様



Yショップ古河店
店長 藤原 美好様



関東センコー運輸株式会社様



古河自衛隊協力会
副会長 菊池 博様



団戦技競技会の見学

駐屯地モニター 団戦技競技会見学



令和三年十二月十四日(火)、第一施設団が古河駐屯地で実施した、令和三年年度団戦技競技会(銃剣道の部)に、令和三年年度の駐屯地モニターを招待した。駐屯地モニターには、選手への気迫あふれる試合を間近で見学して頂いた。

令和4年度 駐屯地モニター・防衛モニター紹介

モニターとは、駐屯地の隊務運営の参考になるような意見・要望などを述べてくれる方のことで、駐屯地周辺に居住する方の中から選ばれています。



駐屯地モニター
鈴木 健司 様



駐屯地モニター
市村 智子 様



防衛モニター
根本 研二 様



駐屯地モニター
鈴木 誠 様



駐屯地モニター
松崎 正明 様



駐屯地モニター
佐藤 貴之 様

曹友会活動

令和三年十二月十五日(水)、駐屯地曹友会は日本赤十字社に対して献血支援を実施した。隊員四十一名が献血協力を行い、医療機関へ貢献した。



修親会清掃活動

令和三年十二月十八日(土)、古河駐屯地修親会は、古河市内に九ヶ所ある「忠魂碑」の清掃活動を実施した。戦没者に対し敬意を込めるとともに、清掃終了後には哀悼の意を表した。今後も駐屯地修親会は清掃活動を続けていく。



部外講話

令和三年十二月二十二日(水)、古河駐屯地体育館において、修親会主催による部外講話を行った。今回の講話では、JAXAの津田氏による「はやぶさ2」を主題としたチーム・ビルディングについて受講した。



定年退官者の紹介



業務隊 藤堂 2佐 3月22日付



古河支処 小原 准尉 3月16日付



301ダンプ 後藤 曹長 3月2日付



102施直支 青木 1曹 2月21日付



古河支処 印南 1曹 2月2日付

「駐屯地トピックス」



ホームページ

駐屯地広報誌「はなもも」はホームページにも掲載しています。詳しくは古河駐屯地ホームページをご覧ください。

永年の国防勤務 本当にお疲れさまでした。

新成人紹介



第101施設器材隊 特殊器材中隊 黒木 士長



第101施設器材隊 特殊器材中隊 古澤 士長



第101施設器材隊 架橋中隊 佐藤 士長



第101施設器材隊 架橋中隊 辻 士長



第1施設団本部付隊 永瀬 士長



第1施設団本部付隊 天野 士長



第301ダンプ車両中隊 山口 士長



第301ダンプ車両中隊 吉岡 士長



第301ダンプ車両中隊 川田 士長



第101施設器材隊 特殊器材中隊 大栗 空良



第101施設器材隊 特殊器材中隊 片根 士長



第101施設器材隊 特殊器材中隊 朝比奈 士長



第301ダンプ車両中隊 渡邊 士長



第301ダンプ車両中隊 大川 士長



第301ダンプ車両中隊 佐藤 士長



第301ダンプ車両中隊 大坪 士長



第301ダンプ車両中隊 高橋 士長



第301ダンプ車両中隊 鬼澤 士長



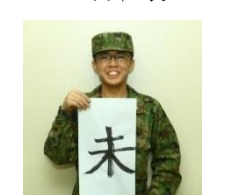
古河駐業 管理科 佐久間 康平



第337高射中隊 左近充 智依



第337高射中隊 佐藤 弘洋



第337高射中隊 小暮 郁弥



関東補給処古河支処 佐々木事務官



関東補給処古河支処 小林 士長

関東補給処古河支処は、令和三年十一月十一日（木）から二十日（土）までの間、秋季演習場定期整備において補給整備支援を実施した。

支援期間中、部隊の要求に基づき五十六品目二百十七品の部品補給及び補給品の輸送を実施するとともに、野整備部隊との連携を図る等、施設器材の可動率向上に寄与した。

また、支処長は現地において、補給品の出庫状況及び整備支援状況を確認するとともに、隊員を激励した。



施設器材を整備する支処隊員



支処長による現地指導

令和三年十二月六日（月）から十日（金）までの間、関東補給処が実施する令和三年度総合隊務視察を受察した。

視察官である関東補給処長は、支処長からの状況報告を受けた後、施設を巡視し、支処の処務運営の遂行状況を確認した。

本視察において、視察官から良好な評価及び今後の円滑な処務運営の資を得た。



視察官による巡視



視察官への状況報告

古河駐屯地業務隊は、令和三年十月一日（金）から三日（日）までの間、令和三年度陸上自衛隊演習（03陸演）に参加した。

第三種非常呼集訓練から状況を開始し、登庁状況・人員の掌握を実施するとともに指揮所の維持・運営要領を練成し、今後の指揮所活動の資を得た。

また、古河支処が実施した駐屯地警備訓練を研修し、駐屯地警備に関する人員・資材等の一案を得た。

令和三年十月二十一日（木）には、駐屯各部隊等の最前任上級曹長や女性隊員等との懇談を区分して実施し、業務隊に対する意見・要望等を直接聴取して支援要領向上の資を得た。

この間、3四半期の駐屯地施設の整備として、総和宿舍受水槽補修、駐屯地高架水槽補修、通信鉄塔航空障害灯交換、庁舎等照度測定、二号庁舎等蒸気配管補修等二十四件の整備を実施し、勤務・生活環境の不断の改善を図った。



03陸演時の糧食交付状況



代表者との懇談



駐屯地高架水槽側面補修



通信鉄塔航空障害灯交換

第一〇二施設直接支援大隊は、令和三年十月十八日（月）から十月二十二日（金）までの間、古河駐屯地において、大隊最前任上級曹長を主務とした第四百四十一期・第百期（女性自衛官）陸曹候補生選抜二次試験受験者六名に対する令和三年度第二回陸士練成訓練を実施した。

本訓練で二次試験受験科目である術科試験、口述試験を練成し、二次試験受験に万全を図った。



口述試験練成



術科試験練成

令和三年十一月十一日（木）から十一月十九日（金）までの間、東富士演習場において、東富士整備支援隊として秋季演習場整備を支援した。

本整備支援間、整備支援隊長である大隊長は「被支援部隊のニーズに合致した野整備支援の実施」「訓練の場と捉え、各種能力を向上」「安全管理・健康管理」の三点を挙げ、整備支援隊各隊員はその三点の要望を胸に被支援部隊の任務達成に寄与した。



グレーダ駐車ブレーキ修理



グレーダパンク修理

第一〇一施設器材隊は、令和三年十一月二十八日（日）から十二月一日（水）の間、令和三年度自衛隊統合演習に参加し、航空自衛隊習志野分屯地において航空自衛隊第一高射群第一高射隊との共同により基地警備訓練を実施した。架橋中隊基幹及び第三〇一ダンブ車両中隊で編成した警備中隊は、基地警備における望楼及び蛇腹鉄条網障害の構築並びに正門出入者及び車両の点検を実施し、関係部隊と連携した警戒・警備にあたった。

防衛及び警備に係る航空自衛隊との共同演習により、警戒・警備及び施設技術能力の向上を図るとともに、防護要領を具体化し、防衛・警備計画への反映を図った。



車両点検



空自隊員との調整

令和三年十二月八日（水）、令和三年度隊戦競技会（銃剣道）を実施した。

競技結果は、個人戦陸曹の部第一位森二曹、第二位杉本三曹、第三位村山三曹、陸士の部、第一位辻一士（現 辻士長）、第二位奥山士長、第三位濱野士長（現濱野三曹）となった。

団体戦では、大逆転の末、本部付隊が銃剣道優秀中隊の看板を手にした。



第1施設団長への現地説明



望楼からの警戒・警備



団体戦優勝 本部付隊

第三〇一ダンブ車両中隊は、令和三年十一月十日（水）から十九日（金）までの間、東富士演習場において実施された秋季演習場定期整備に参加した。各部隊の担任する機動路整備等を支援し、演習場機能の維持・向上及び演習場の長期安定使用に寄与し、任務を完遂した。

演習場定期整備は、各隊員の車両操縦技術及び施設器材操作技術の向上を図るのに絶好の機会であり、本整備では、中隊所属の女性隊員である吉田三曹が施設器材操縦陸曹としてデビューを飾った。

また、十二月十三日（月）・十四日（火）に団戦競技会として、持続走及び銃剣道が実施され、それぞれの競技に参加した。

各隊員の各種訓練、業務等の合間及び課業外を活用して、積み重ねてきた練成成果を発揮した。



施設器材を操作する吉田三曹（演習場定期整備）



「必勝」の信念で剣を出す隊員（銃剣道競技会）



車両行進訓練



夜間の射撃準備（発射装置）

第三三七高射中隊は、方面直轄部隊訓練検閲受閲に向け、駐屯地において機能別訓練を行い、野外行動能力の向上を図った。

特に新隊員に対し、夜間における野外行動能力を重視した訓練を行い、群検閲受閲に向けての練度向上を図ることが出来た。

第三四一会計隊は、令和三年十二月十日（金）から十五日（水）までの間、方面隊訓練検閲を受閲した。

本検閲では、主として武力攻撃事態の際に想定される駐屯地における会計支援（緊急調達等）を中心とした状況について受閲した。

また、至近距離射撃訓練を実施する等、隊として、有事の際の行動を確認することができた。



作戦会議



至近距離射撃訓練

第三二〇基地通信中隊古河派遣隊は、令和四年一月二十四日（月）から二十六日（水）までの間、群・中隊持続走競技会に参加した。

競技会では、高いモチベーションのもと日々の駆け足の成果を発揮し、記録を更新する隊員が多数現れた。

中でも、先月、陸曹候補生課程から帰隊した大川曹候は、約2分近くの記録更新となった。

来年の競技会では更なる好記録を出せるよう派遣隊一同、日々の練成を継続していく。



持続走競技会スタートの様子



ゴール前でスパートをかける大川曹候